

一般講演

タイムテーブル

(発表9分、質疑応答3分、計12分)

A 会場

座長 榎本 賢 (東北大・院農)

- 10:30 A01 抗真菌活性を有する環状オクタペプチドburkholdine類の合成研究: β -hydroxy tyrosine部の合成に関する研究
○加藤誠弥、佐藤亮太、佐々木康裕、今野博行 (山形大・院理工)
- 10:42 A02 Dha 含有 Lantibiotic ペプチド SapB の合成研究
○似内郁美、今野博行 (山形大・院理工)
- 10:54 A03 SARS 3CL プロテアーゼ阻害剤を目指したイソセリン誘導体の合成と評価
○今野博行¹、若林雅貴¹、似内郁美¹、照屋健太²、赤路健一³
(¹山形大・院理工、²東北大・院医、³京都薬科大)

座長 今野博行 (山形大・院理工)

- 11:06 A04 Inceptinのアナログ合成とエリシター活性について
○高橋宗之、田母神 繁 (秋田県立大院・生物資源)
- 11:18 A05 細胞毒性および抗菌、抗真菌活性を有するSacrolide Aの全合成研究
○毛利朋世、十和田諒、桑原重文 (東北大・院農)
- 11:30 A06 ストロファステロールA及びBの合成研究
○福田裕紀、佐藤俊太郎、村上真裕子、廣川高史、桑原重文 (東北大・院農)

— 昼食・参加会 —

座長 橋本 勝 (弘前大・農生)

13:00 A07 好熱性細菌が生産するktedonoketoneの合成研究
○石井紗也加、桑原重文、榎本 賢 (東北大・院農)

13:12 A08 バシロサルシンBおよびCの立体選択的合成
○倉沢一輝、桑原重文、榎本 賢 (東北大・院農)

座長 塩野義人 (山形大・農)

13:24 A09 Norleptosphol Cの合成研究
○竹田珠実、橋本 勝 (弘前大・農生)

13:36 A10 新規neomacrophorin類の構造決定
○日下部一晃、本村優奈、殿内暁夫、橋本 勝 (弘前大・農生)

13:48 A11 Cyclohelminol Xの構造
○田中静也¹、本村優奈¹、橋本 勝¹、福士江里² (¹弘前大・農生、²北大・院農)

14:00 A12 Neomacrophorin Xの構造
○橋本 勝¹、日下部一晃¹、殿内暁夫¹、越野広雪² (¹弘前大・農生、²理研CSRS)

B 会場

座長 木村賢一（岩手大・農）

10:30 B01 流木より分離した糸状菌 *Cylindrocarpon* sp. SY-37 株が生産する物質について
○鈴木拓馬、吉田誠也、村山哲也、小関卓也、塩野義人（山形大・農）

10:42 B02 ツルムラサキの葉に含まれるハスモンヨトウ幼虫に対する成長阻害物質の探索
○石栗詩歩、村山哲也、網干貴子（山形大・農）

10:54 B03 ヒノキ科コノテガシワ由来の α -グルコシダーゼ阻害活性を示すジテルペン
○常盤野哲生¹、浮田さゆり²、小山愛美²、長根ゆい¹、吉澤結子¹
(¹秋田県立大・生資科、²秋田県立大院・生資科)

座長 網干貴子（山形大・農）

11:06 B04 イネの *ent-KAURENE SYNTHASE 2* の特徴付け
○伊藤 瑛¹、手塚大介^{2,3}、三橋 渉¹、今井亮三^{2,3}、豊増知伸¹
(¹山形大・農、²農研機構・北農研、³北大・院農)

11:18 B05 ミナトカモジグサのジテルペン環化酵素遺伝子
○湊 志帆¹、宮本皓司²、三橋 渉¹、山根久和²、岡田憲典³、豊増知伸¹
(¹山形大・農、²帝京大・理工、³東京大・生工セ)

11:30 B06 フシコクシン処理による花成関連bZIP転写因子FD1と14-3-3タンパク質相互作用の人為制御
○坂井優生¹、菅原かほり¹、川本 望²、松浦 嵩¹、千葉光浩¹、三橋 渉¹、荒木 崇²、深澤壽太郎³、
加藤修雄⁴、豊増知伸¹ (¹山形大・農、²京都大・院理、³広島大・院理、⁴大阪大・産研)

— 昼食・参与会 —

座長 及川 彰 (山形大・農)

- 13:00 B07 アメリカネムノキの就眠運動を制御するイオンチャネルの解析
○及川貴也¹、石丸泰寛¹、宗正晋太郎²、村田芳行²、鷲山研人¹、浜本 晋³、魚住信之³、上田 実¹
(¹東北大・院理、²岡山大・院環境生命、³東北大・院工)
- 13:12 B08 ジャスモン酸によるオーキシシグナル抑制機構
○石丸泰寛¹、鈴木健史¹、Christian Meesters²、Erich Kombrink²、高橋公咲⁴、松浦英幸⁴、林 謙一郎⁵、深城英弘⁶、上田 実¹
(¹東北大、²Max Planck Institute、⁴北大、⁵岡山理科大、⁶神戸大)
- 13:24 B09 ジャスモン酸によるソバスプラウト中のアミノ酸蓄積
○小林育恵、花田沙織、田母神繁、野下浩二 (秋田県立大・生物資源)

座長 常盤野哲生 (秋田県立大・生資科)

- 13:36 B10 Neomacrophorin類によるプロテアソーム阻害作用と構造活性相関
○上杉祥太¹、本村優奈²、日下部一晃²、殿内暁夫²、山下哲郎¹、橋本 勝²、木村賢一¹
(¹岩手大院・連合農、²弘前大・農生)
- 13:48 B11 ヒマシ油由来ヒドロキシ脂肪酸ricinoleic acidのカルシニューリン阻害活性
○吉田 潤¹、大川佑介²、小山卓矢³、上杉祥太⁴、木村賢一^{2,3,4}
(¹岩手医大・教養教育セ・化学、²岩手大院・農、³岩手大・農、⁴岩手大院・連合農)
- 14:00 B12 高等植物の細胞周期停止因子は種々のタンパク質と結合し得る？
○吉田昂平、原 遵、二村美恵、阿部央樹、高橋伸明、豊増知伸、三橋 渉 (山形大・農)
- 14:12 B13 高等植物由来の細胞周期停止因子はファゴソームで分解されるのか？
○小倉亮子、関 史恵、大熊康仁、豊増知伸、三橋 渉 (山形大・農)

C 会場

座長 井上奈穂 (山形大・農)

- 10:30 C01 1-デオキシノジリマイシンの高生産培養:成分プロファイルと機能性の評価
○高須蒼生¹、山岸賢治²、小野瀬晋司¹、伊藤隼哉¹、池田亮一³、樋口央紀⁴、木村俊之²、仲川清隆¹、宮澤陽夫^{1,5} (¹東北大・院農、²農研機構食品研究部門、³旭松食品(株)、⁴(株)機能性植物研究所、⁵東北大NICHe)
- 10:42 C02 粉乳に含まれる脂質糖化産物の分析法の構築
○小舘 愛¹、乙木百合香¹、伊藤隼哉¹、加藤俊治¹、宮澤陽夫^{1,2}、仲川清隆¹
(¹東北大・院農、²東北大・NICHe)
- 10:54 C03 血漿プラズマローゲン定量法の確立と臨床サンプル測定への応用
○乙木百合香^{1,2}、加藤俊治¹、Taha AY²、Heneville M²、Swardfager W³、宮澤陽夫^{1,4}、仲川清隆¹
(¹東北大・院農、²UC Davis、³Toronto Univ、⁴東北大NICHe)

座長 坂元君年 (弘前大・農生)

- 11:06 C04 麻痺性貝毒の生合成経路解明に向けた予想生合成中間体の合成及び同定
○土屋成輝¹、吉岡廉平¹、長由扶子¹、此木敬一¹、長澤和夫²、大島泰克³、山下まり¹
(¹東北大・院農、²東農工大・院工、³東北大・院生命)
- 11:18 C05 トラフグ属(*Takifugu*)以外の属のフグ血漿中のPSTBP類似タンパク質
○長岡佑真¹、村本光二²、長由扶子¹、此木敬一¹、山下まり¹ (¹東北大・院農、²東北大・院生命)
- 11:30 C06 中脂肪食が老化による脂質吸収能に与える影響
○山本和史、都築 毅 (東北大・院農)

— 昼食・参加会 —

座長 矢野成和 (山形大・院理工)

- 13:00 C07 麹菌 *Aspergillus oryzae* 由来 α -L-ラムノシダーゼ(AoRhaA)の酵素学的諸性質
○石川真衣、塩野義人、小関卓也 (山形大・農)
- 13:12 C08 L-Ala要求性大腸菌変異株に由来するサプレッサー変異の同定
○三嶋玄隆¹、渡邊裕一¹、内ヶ崎啓¹、関 翔太¹、熊谷俊高²、町田雅之³、安藤太助¹、磯貝恵美子¹、米山 裕¹ (¹東北大・院農、²ファームラボ、³産総研)
- 13:24 C09 大腸菌はエネルギー依存的なD-アラニン排出システムをもつ
勝部 哲、佐藤一樹、安藤太助、磯貝恵美子、○米山 裕 (東北大・院農)
- 13:36 C10 大腸菌の新規L-アラニン排出輸送体YtfFの機能解析
○勝部 哲、金 世怜、安藤太助、磯貝恵美子、米山 裕 (東北大・院農)

座長 米山 裕 (東北大・院農)

- 13:48 C11 偏性嫌気性ルーメン細菌 *Selenomonas ruminantium* の主要外膜蛋白質 Mep45は C 末端側 341 残基で拡散チャネルを形成する
○林 華奈子¹、金子 淳¹、栃木左枝子²、草野友延²、神尾好是¹、児島征司²
(¹東北大・院農、²東北大・院生命)
- 14:00 C12 *Leuconostoc mesenteroides*による不溶性グルカンの生産とバイオフィルム形成
○玉木友理¹、今野博行²、矢野成和² (¹山形大・工、²山形大・院理工)
- 14:12 C13 イチジク由来Rubber Elongation Factor組換えタンパク質の生産と凝集体解析
○横田早希¹、鈴木友理奈²、斎藤圭佑²、北島佐紀人³、大谷典正⁴、後藤 猛¹
(¹秋田大・院理工、²秋田大・工資、³京都工繊大・応用生物、⁴山形大・理)